

平成 28 年度実績に係る部局評価書

部局名: 日本語・日本文化教育センター

【評価区分1】 部局年度計画に係る 自己評価に対する評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」に おける年度毎の状況評価】	【総合評価】 評価区分1及び評価区分2 に基づく評価
S	A	S

【評価区分1:部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った理由)
【教育】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 私費学部留学生予備教育プログラムにおいて、同年度に初めて理科系の学生を受け入れて予備教育を行い、修了生を出したことが評価できる。
【研究】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【社会貢献】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 拠点事業のうち「教育実習指導事業」において他大学からの教育実習生の受入れが、9 大学から延べ 127 名と多数にのぼったことが評価できる。
【グローバル化】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 聴講学生 29 名が 105 科目、G30 学生 9 名が 12 科目、同センターの提供する授業科目を履修し、さらに学内各部局所属の学生 60 名が同センターの提供する国際交流科目を 278 科目履修するなど、全学の留学生教育に貢献したことが評価できる。
【業務運営】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。